

第3号様式（第6条関係）

令和7年12月4日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

(宛先)

戸田市長

団体名

Pico22（ピコニャンニャン）

代表者職・氏名

清水真奈美

所在地

事業名	Cat&Art!2026（保護猫啓発活動）	
SDGs の 該当ゴール	SDGs 15：陸の豊かさを守ろう SDGs 17：パートナーシップで目標を達成しよう	
確定前交付の 希望	☐ 希望する	☒ 希望しない
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	
ホームページ	https://www.officemirai.com/cat	
設立年月日	令和4年 6月 22日 設立	
会員数	12人	
年会費	0円／1年間	
団体の目的	本会の目的は、「Love & Care」をコンセプトに、『保護猫と里親様』をお繋ぎする活動を通じて会員相互の交流をはかり、『野良猫殺処分ゼロ』を目指し、人も猫も共生した住み良い地域環境を推進することを目的とする。	

主な活動実績	2022年6月～2025年11月 【保護・譲渡・TNR】 ・保護 97 匹 ・譲渡 94 匹 ・TNR5 匹 【協働活動】 他団体の多頭飼育崩壊現場のレスキューのサポートに入る。 ・戸田市笹目（室内）現場の「保護・譲渡」 ・戸田市上戸田（室外）現場の「保護・譲渡」 【彩の国動物愛護推進員】 代表の清水真奈美が彩の国動物愛護推進員となる。 【協働活動】 戸田市共創のまちづくり補助金団体協働事業補助の交付事業として『目指せ！「戸田市・野良猫ゼロ活動」～人と猫が共存するまちづくり～』に協働参加する。※補助金申請団体：ねこちゃんず 8 【啓発活動】 2024年2月11日『Cat&Art!2024～保護猫チャリティ～』開催 戸田市文化会館 展示室 参加人数 100 名 集客人数 600 名 ＜チャリティ募金箱の設置＞ 合計金額：77,950 円 ① 日本赤十字社埼玉支部（能登半島地震） 51,520 円 ② 日本赤十字社（中東人道危機救援金） 26,430 円 2025年2月16日『Cat&Art!2025～保護猫チャリティ～』開催 会場：東部福祉センター（中会議室・大会議室） 参加者及びその人数：セミナー参加者 70 名（満席） Cat&Art2025 ご来場者：1,000 名 【Cat& Art の効果としてのご相談】 新たなご相談として、「里親様募集のサポート」「飼育相談」のほか、「地域猫について」「保護猫のセミナー」「動物病院のセカンドオピニオン」等がありました。 【Pico22-Warabi】 Pico22 蕨支部の設立。（2025 年 6 月）
---------------	---

これまでの補助金等の援助状況	2024 年度 戸田市共創のまちづくり補助金（SDGs 応援事業補助）
団体PRなど	Pico22（ピコニャンニャン）は、彩の国動物愛護推進員である代表の清水真奈美を中心に戸田市と蕨市で『保護猫と里親様』をお繋ぎするボランティア活動をしています。ボランティア活動のため、保護する時の費用は発生しません。 シェルターなどを持たず個人宅で預かるため、保護猫も家猫として過ごすことができるため、人馴れ、家慣れが早く、譲渡に繋がっています。地域の企業様のご協力を得て、戸田公園駅近くの譲渡会場を無償でお借りできるので、一年中室内で譲渡会が開催できます。 メンバーは、それぞれ仕事をしながらの活動ですが、家族の理解があり家族で保護した猫に愛情を注ぐ協力が得られ、また預かりした保護猫の譲渡から里親様のアフターフォローが行き届いています。保護猫の医療については、ワラビー動物病院との信頼関係があるため、啓発活動への獣医師のセミナーなどのご協力や保護した野良猫に関してのサポートが得られます。具体的には、昨年度より啓発活動にも積極的に取り組むため、「Cat&Art!～保護猫チャリティ～」を開催し、アートとコラボレーションすることで、多くの市民の皆様に保護猫活動への理解や保護猫活動を知っていただく啓発活動を展開しています。 Pico22（ピコニャンニャン）のパンフレットを作成し、野良猫を保護することや、里親になるための譲渡条件などを事前に理解しやすいように啓発をしています。 戸田市のボランティア登録団体として、地域のご相談者様が安心してご相談できるように無料でサポートやアドバイスができるように会員が意思統一しています。 一つの団体や一人の個人が多く保護することによる多頭飼育崩壊を未然に防ぐために、一人でも多くの方が保護猫活動に参加しやすくなるように捕獲器のレンタルやケージのレンタルも無償でしており、保護猫活動に参加しやすい環境作りに努力をしています。 保護猫が里親様の家猫になってからも安心して暮らしていけるように、里親様との信頼関係をもてるように心がけております。

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDGs の該当ゴール：

SDGs 15 陸の豊かさを守ろう

SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

陸のいのちを守り、再生していくためにやるべきことを掲げた目標に向けて、私たちの活動である野良猫を保護猫から家猫にしていくことにより、地域の環境美化や小さないのちを繋いでいくことができることを多くの市民に知ってもらうことは決して簡単ではないため、一人ひとりにできることがあることを考えてもらうきっかけや行動につながる持続可能なより良い未来へのバトンを繋ぐことを図る。

2 事業の具体的内容

Cat&Art! 2026（保護猫啓発活動）を下記のとおり実施します。

開催日：2026年2月15日（日）

時間：11:00-17:00

会場：戸田市文化会館 展示室

【PR方法】

- ・パンフレットを作成して地域の方々に配布
- ・Pico22（ピコニャンニャン）のホームページ、Instagram、ブログで告知
- ・公共施設へのチラシの配架
- ・戸田市ボランティア・市民活動支援センターの掲示板などに掲載
- ・メンバーが個人的に告知

【運営主体の構成人数】

- ・Pico22（ピコニャンニャン）12人
- ・ボランティア2人～5人（里親様）
- ・ボランティア8人～10人（アートの展示、ワークショップ、発表）

【内容】

- 獣医師によるセミナー 講師：矢作聡志先生（ワラビー動物病院）
- 獣医師への質問：教えて矢作先生
- 保護猫の写真展示
- トルコエブルアート※トルコは世界一猫に優しい国と言われている。
- 猫のアートのワークショップ、似顔絵、販売（当会員ではない作家が実施）
- 動物基金のポスターの展示と絵本の配布
- Pico22の団体パンフレットの配布
- 募金箱の設置

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
10 月 7 日	Pico22 ミーティング
11 月 6 日	関係者ミーティング
11 月 21 日	会場予約・下見
12 月 8 日	関係者ミーティング
1 月中旬	チラシ配架
2 月 15 日	Cat&Art! 2026（保護猫啓発活動）

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

Cat&Art! 2026（保護猫啓発活動）

目標参加者及びその人数：セミナー参加者 100 名 ご来場者 600 名

①保護猫の啓発活動（陸のいのちを守る）

- ・矢作聡志獣医師によるセミナー（60 分）

テーマ「犬や猫の病気について」

- ・教えて矢作先生（30 分）

参加者より、矢作先生への質問コーナー

②猫の写真展示

- ・保護猫の写真を展示して里親様募集に繋げる。
- ・譲渡して家猫になった写真の展示により活動の尊さを伝える。

③啓発として「どうぶつ基金」のポスターの展示と絵本の配布

- ・どうぶつ基金のポスターを展示する。

④アートのワークショップ

- ・トルコエブルアート
- ・猫のアートのワークショップ、販売
- ・Cat&Art!2024 参加者による寄せ書きポスターの展示：2 枚
- ・Cat&Art!2026 参加者による寄せ書きポスターの展示：1 枚 ～2 枚（予定）
- ・猫の似顔絵コーナー

猫のアートのワークショップや販売によって、保護猫に対する優しいや心の豊かさが生まれるような体験をしてもらい、陸のいのちの大切さを伝える。

来館者にどうぶつ基金の絵本、Pico22 のパンフレットの配布や動物基金のポスターを展示して啓発を図ることにより、いのちへの関心を持っていただく。

SDG s 15 陸の豊かさを守ろう

来場された方が獣医師のセミナーを真剣に聞いて、いのちの尊さについて学んでいただく。また、猫のアートに触れ、ワークショップを体験することにより保護猫に対する優しさを培い、人と猫が共生できるまちづくりに寄与する。SDG s 15 陸の豊かさを守ろうである、陸の命の大切さを感じていただき、陸に生きるすべての命の尊さを感じていただく。

SDG s 17 パートナリシップで目標を達成しよう

準備していく段階から、当団体の会員や、ボランティア、そして本事業に関わる方々と目標の達成に向けてチームワークが強固にする。来館者の方にもセミナーやワークショップに参加していただく中で、会話が多くでき、自然生態系の保全・再生に関心を持つ理解者を増やしていけることにつなげる。

【募金箱の設置】

東日本大震災被災地支援として、会場受付に募金箱を設置する。

寄付先：認定 NPO 法人桜ライン 311

陸前高田市内の津波最大到達地点に桜を植樹し 17,000 本の桜並木をつくることで、東日本大震災津波の記憶を後世に伝え残す取り組みを実施しています。東日本大震災津波の教訓を多くの方に伝え、災害で失われる命を一人でも減らすために、桜の植樹に加え、全国各地での防災・減災についての講演・イベント、現地ガイドなどの活動を通して、東日本大震災津波の風化防止、災害に対する正しい知識の普及啓発に取り組んでいます。現在 2,370 本／17,000 本。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助 金・ 助成金	当補助金	50,000	
	その他		
自己資金		120,000	前年度繰越金 5,661 円を含む
会費			
利用者負担金			
協賛金・寄附			
その他			
合 計		170,000	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳	
補助 対 象 経 費	委託費	55,000	チラシデザイン費（草場智湖 様）	
	謝礼金	10,000	講師への謝礼（お菓子）	
	消耗品費	5,000	文房具、スタッフネクストラップ等	
小 計		70,000	内 訳	補助金申請額：50,000
				自主財源：20,000
補助 対 象 外 経 費	印刷製本費	15,000	チラシ印刷（プリントパック 5,000 枚）	
	使用料	85,000	会場代（戸田市文化会館会館展示室） 80,000 円 照明 5,000 円	
小 計		100,000		
合 計		170,000		

